

《第1部》 前年同期比較編

2008年12月期決算説明会

1. 実施日: 2月17日(火)15:00~16:30
2. 会場: ベルサール八重洲
3. 内容: 《第1部》 前年同期比較編
4. 説明者: 代表取締役社長 今井 明夫

~~~~~

#### 《Section 1 実績報告》

本日は、お忙しいところロイヤルホールディングス株式会社の2008年12月期決算説明会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

前方スクリーンとお手元の決算説明会資料を使い説明させていただきますので、宜しくお願い申し上げます。

#### [2008年12月期決算 連結業績]

まず初めに、2008年12月期決算の連結業績でございます。

当期におきましては、景気の悪化やそれに伴う個人消費の低迷などによりまして、外食事業を中心に各事業の収益性が悪化しており、減収減益となっております。

連結売上高は1,200億95百万円と前年同期比2.4%の減少となり、営業利益は10億77百万円で前年同期比74.3%の減少、経常利益は11億91百万円と前年同期比73.9%の減少となってしまいました。

また、当期純利益は、総額56億47百万円の特別損失を計上したことなどにより、55億97百万円の当期純損失となっております。

#### [当期純利益減少要因]

昨年後半に急激に進んだ景気悪化からの回復の目処は立たず、外食事業にとりましてもしばらくは厳しい事業環境が続くものと想定しております。

したがって、このような状況下でも短期間で収益力を回復させ、将来の成長に向けた事業基盤構築の機会に備えるために、昨年公表しましたとおり事業再編や不採算店舗の整理に着手しております。

その結果、閉鎖を決定した店舗及び収益性が低下した店舗などについての減損損失が、前年よりも13億21百万円増加し、また、それらの店舗閉鎖に伴う関連費用の見積額を引当金に計上したことで、店舗撤退損失引当金繰入額が14億3百万円増加しました。

このほか、外食事業を営む連結子会社に係るのれんの減損損失など15億75百万円、投資有価証券評価損5億73百万円なども計上しておりまして、特別損失が前期に比べて45億75百万円増加し、当期純損失55億97百万円を計上することとなりました。

## 《第1部》 前年同期比較編

### 〔セグメント別 売上高・営業利益〕

セグメント別の業績に移りますが、売上高につきましては、2007年以來積極的な出店を進めているホテル事業が23億47百万円の増収となり、下期に入ってM&Aの効果が現れてきた機内食事業でも2億31百万円の増収となりました。

しかし、個人消費の低迷もあり既存店売上高の減少が続く外食事業で18億63百万円の減収となったほか、食品事業子会社の1社を2007年9月に非連結化したことが影響した食品事業で36億15百万円の減収となっています。

その結果、連結売上高では29億円の減収となっております。

営業利益につきましては、機内食事業が対前年で52百万円の減益幅で止まったものの、外食事業で21億2百万円、ホテル事業で5億72百万円、食品事業で3億97百万円減少し、連結ベースでは31億20百万円の減益となっています。

### 〔外食事業〕

これよりセグメント別にご説明を致します。

先ず外食事業ですが、売上高につきましては、2007年4月に連結子会社となった三越百貨店内での外食事業などを営むセントレスタ(株式会社)の売上が、年間をとおして計上されたことによる13億7百万円の増加要因がございます。

しかし、ロイヤルホストにおける既存店売上高の減少と開閉店の影響により合計29億14百万円の減収となったこと、その他の外食事業でも2億56百万円の減収となったことから、合計で18億63百万円の減収となっております。

営業利益に関しましては、記載している内訳にもありますとおり、購買活動における工夫などに伴う増益要因はあるものの、既存店売上高の減少が進んだことによりまして、ロイヤルホストで8億14百万円の減益となっております。

その他の外食業態においても、既存店の収益力が低下したことにより8億48百万円の減益となり、新システムの稼働など間接費用が増加したことなどによる3億95百万円の減益要因も合わせて、外食事業全体としては21億2百万円の減益となりました。

### 〔食品事業〕

食品事業に関しましては、食品事業子会社の1社を2007年10月に非連結化したことにより、外部売上高が38億99百万円減少しております。

しかし、存続事業の前年同期比較では、カフェチェーンやコンビニエンスストア向けなどの売上が伸張したこともありまして、2億84百万円の増収となりました。

これらを総合して、食品事業セグメントにおいては36億15百万円の減収となっております。

営業利益につきましては、事業再編に伴う2億60百万円の減少要因のほか、存続している事業にも収益性が低下したことに伴う1億37百万円の減少要因があり、食品事業全体とし

## 《第1部》 前年同期比較編

て3億97百万円の減益となっております。

### 〔機内食事業〕

機内食事業におきましては、昨年7月にM&Aにより福岡空港における機内食事業会社1社を子会社化したことによる3億75百万円の増加要因がありました。

しかしながら、世界経済の減速を背景に航空会社が推し進める合理化の影響を受けまして、既存の事業では1億44百万円の減収となり、全体では2億31百万円の増収にとどまっております。

損益面につきましては、原材料価格の高騰や人件費の上昇などにより、小幅ではありますが営業利益が52百万円減少致しております。

### 〔ホテル事業〕

ホテル事業では、2007年に4店、2008年に5店のリッチモンドホテルを新たに開業し、その結果25億26百万円の増収効果がありました。

しかし、景気悪化の影響により既存ホテルの稼働率が若干低下したことにより、既存店で1億79百万円減収となりました。

その結果、全体で23億47百万円の増収となっております。

一方、景気悪化の影響で、既存ホテルの稼働率が低下したほか、新規開業ホテルの稼働率の上昇スピードが従来に比べて鈍化しており、当期実施した5つのホテル開業費用や既存店の内装グレードアップなどに係る費用4億4百万円の負担を吸収することができなかったことにより、ホテル事業全体としては5億72百万円の減益となっております。

## 《Section 2 業績予想》

### 〔業績予想の前提〕

次に、2009年の通期業績予想についてご説明させていただきます。

事業環境全般と致しましては、依然景気回復の目処は立っておらず2009年も外食に対する消費の回復も期待できないものと予想しております。

一方で、原材料価格・人件費といった諸費用につきましては、中長期的な需給関係から高止まりすることを想定しており、厳しい事業環境が継続するものと考えております。

尚、事業セグメントごとの前提につきましてはご覧のとおりでございますので、宜しくお願いします。

### 〔2009年12月期 連結業績予想〕

この前提に基づき予想した2009年12月期の業績は、前年を6.7%下回る売上高1,120億円を予想しています。

一方、営業利益は前年を53.2%上回る16億50百万円、経常利益は前年を51.1%上回る18

## 《第1部》 前年同期比較編

億円、当期純利益は黒字に回復する2億円の水準を予想致しております。

### 〔セグメント別 売上高・営業利益予想〕

事業セグメント別の業績予想ですが、外食事業においては来客数の減少傾向が継続し、売上高を下押しすることから、前年を8.8%下回る899億円の売上を予想致しております。

しかし、営業利益につきましては、不採算店舗約60店の整理を進めるほか、現場力の再強化や、事業統括本部を中心としたグループシナジーの発揮や間接費用削減に向けた全社的な取り組みを進めることで、前年を8億50百万円上回る8億90百万円の営業利益を予想致しております。

食品事業につきましては、ロイヤルホスト向けの売上高は減少するものの、他業態での自社製品の利用を高めていくことで、前年並みの内部売上45億円を予想致しております。

また、カフェチェーンやコンビニエンスストアなど外部向けの売上高も前年並みの37億円を予想しております。

営業利益については、効率性改善を進め前年を39.7%上回る3億80百万円を予想致しております。

機内食事業につきましては、世界景気回復の目処が立たない中、航空会社の合理化努力がますます進展することを想定しまして、売上高は前年を13.3%下回る57億円、営業利益は44.2%下回る5億80百万円を予想致しております。

ホテル事業につきましては、今年も4つのホテルを開業する計画です。

リッチモンドホテルはJ.D.パワーアジア・パシフィックによる「ホテル宿泊客満足度」調査において、1泊9,000円から15,000円未満の部門で、昨年も日本一の評価を得ることができました。

これで3年連続の日本一であります。この強みを持つホテルを着実に成長させていきたいと考えております。

しかし昨今の景気悪化の影響を受けて、出張抑制の動きも広がっており、稼働率については昨年を若干下回る見込みであります。

ホテル事業全体としましては、売上高は前年を13.2%上回る127億円、営業利益は前年を10.2%上回る8億円を予想しております。

以上で2008年12月期決算と今期の予想に関する説明を終了致します。

引き続き事業統括本部から、本年から始まる3年間を対象期間とする中期経営計画の説明をさせていただきますので、どうか宜しくお願いします。

ありがとうございました。

【以上】